

# 栃木県生協連・2012年度11月定例報告



2012年11月20日  
栃木県連 専務 鎌柄

## (1) 10月活動日誌

日付	曜日	内容
10月1日	月	県連くらし部会
10月2日	火	行政生協関係者連絡会
10月3日	水	労福協幹事会
10月4日	木	食の安全ネットワーク全体会(学習会)
10月6日	土	生協総研研究集会、県エコもりフェア
10月7日	日	県エコもりフェア
10月8日	月	うつのみや食育フェア
10月9日	火	関東地方消費者グループフォーラム実行委員会
10月11日	木	ぽぼら・とちぎ暮らし応援会
10月12日	金	県連第5次中期計画委員会
10月13日	土	いわき市四倉仮設でのお茶会予定
10月15日	月	食の安全ネットワーク世話人会、消費者ネット幹事会、消費生活条例試案検討委員会
10月16日	火	ふれあいお茶会
10月17日	水	県連国際協同組合年ワーキングチーム会
10月18日	木	福祉ネットワーク全体会・見学会
10月20日	土	一般社団法人コープ福祉とちぎ小山事業所開所祝賀会
10月22日	月	県連くらし部会拡大学習会、福祉センタービジョン委員会
10月24日	水	県連監査
10月25日	木	食の安全ネットワーク消費者セミナー(日光)
10月26日	金	県連理事会
10月28日	日	栃木市協働まつり、全労済栃木県本部「防災フェスティバル」
10月29日	月	県食育推進大会
10月30日	火	食の安全ネットワーク消費者セミナー(高根沢)

※まとめは概況とします。

## (2) 10月活動の概況

### (会員等の動き)

10月20日(土) ふれあいコープ関連法人の一般社団法人コープ福祉とちぎのコープ福祉介護センター小山(小山市喜沢)の開所祝賀会が開催された。小山市大久保市長はじめ、佐野短大の山田教授の来賓挨拶が行われ、日生協中央地連本間事務局長も参加をされた。2階建のショートステイ20床、1階デイサービス、ヘルパーステーション、相談センター、併設で保育ひろば(ちびっこハウスすくすく)、隣接でおやま城北クリニックと医療と介護のセンター機能として、地域の方々からも期待が寄せられていた。

10月22日(月)とちぎコープ生協の夕食宅配事業が、同生協の足利センターエリアから新事業のスタートを切った。初期登録者170名を超えて、地域の高齢者や一人暮らしの方、忙しい方向けに3つのメニュー(価格は530円から約700円)を提供している。

10月28日(日)国際協同組合年に当たり全労済栃木県本部では、防災が社会的な課題になっている中「親子で学ぶ!!防災フェスティバル」が、県防災館で開催された。防災館での風・雨・煙の体験、県の消防隊による救助訓練デモンストレーション、消防車の見学、消火器体験、サバイバルカード作成、救急救命の学習、非常食試食、災害伝言ダイヤル、消防設備など様々な体験や展示が行われた。また、生協連ブースも設けていただいた。参加者は、雨の中にも関わらず約520名の見学者があった。

#### (部会等の動き)

10月8日(月)体育の日に「うつつのみや食育フェア」が宇都宮城址公園他で開催された。くらし部会で「守ろう地産地消!守ろうとちぎ産」をテーマに、3地域生協で食と学びのエリアに出展した。展示パネルをそれぞれの生協が作製し、来場者へ3つのテーマで理事の皆さんがお話をし、栃木県産の大豆を使用した味噌のプレゼントも行った。300人以上の来場があった。

10月22日「くらし部会拡大学習会」が開催され、4会員1連合会、約50名の参加があった。テーマは「福島第一原発事故の課題と今後のエネルギーの在り方」とし、講師は独立行政法人科学技術振興機構の北澤宏一顧問にお願いした。アンケートからも原発事故後のエネルギー政策とその在り方について、具体的なお話で良く分かったとの声が多かった。国策として進められてきた原発重視から、再生可能エネルギーへの転換の現実性について、納得性のある話がされた。

#### (宇都宮市内と福島県から避難されている方々のふれあいお茶会)

10月16日(火)14回目のふれあいお茶会が開催された。参加者は、浪江町の方10名、福島市の方2名、双葉町の方3名、南相馬市の方1名、大熊町の方4名、相馬市の方1名、南相馬市の方3名、飯館村の方1名、須賀川の方1名、大人24名 子供1名の参加があった。福島県行政1名、とちぎ暮らし応援会1名、宇都宮まちづくりセンター1名、スタッフは県連、とちぎコープ、よつ葉生協、ふれあいコープ、NPOウィズ、計13名だった。

新たにご夫婦の方が副世話人となった。また、男性の参加が増えて来ている。「スタッフの何気ない話題、手作りの軽食に元気をもらい、また行こうという気持ちになる。そして前向きに考えようと思えるようになった。」との声をいただいた。

11月25日には、県内避難者の方々のための「ふるさと大交流集会」が予定されている。

#### (いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

10月13日第8回目のいわき市四倉中核工業団地仮設でのお茶会を開催した。参加スタッフは、とちぎコープ7名、よつ葉生協2名、県連2名の計11名、車はよつ葉生協、とちぎコープの2台でいわきに向かった。

参加された方は大人12名(内男性3名)、子ども2名で、計14人だった。今回の手作りの企画は、状差しづくりで楽しんでもらえた。反省会では、「手芸の作品を飾れる棚を購入された方がいた。楽しみにされていることを感じさせられた。」「仮設の方々の横のつながりができていると感じた。」などの声がスタッフから出された。

### (食の安全課題の関連)

10月3日とちぎ食の安全ネットワーク全体会では、福島大学小山良太准教授を講師に「放射能汚染対策と食と農の再生」の学習会を含めて開催した。17組織約45名の参加があった。チェルノブイリの調査を基に、詳細な汚染マップ作りの必要性が具体例を示しながら話をされ、多くの参加者にとって分かりやすく説得性のある内容だった。全体会では、地婦連、とちぎコープ、よつ葉生協から食の安全の取り組み報告がされた。

10月25日第1回目の「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」が、日光市中央公民館で開かれた。参加者は47名、保育は8名、スタッフ等含めて全体で68名だった。講師は茨城大学理学部の田内広教授（昨年度食の安全地域フォーラムで、県内3会場の講師をお引き受けいただいた。）、「放射性物質と私たちの健康とくらしー放射性物質と向き合うためにー」をテーマに講演をいただいた。具体例を交えて、放射線と放射能の基本から健康への影響についてまでお話をいただいた。特にラベルで出された質問に対して丁寧に答えていただけた。県のくらし安全安心課からも参加されていた。

10月30日は第2回目のセミナーで、高根沢町の町民広場の農業構造改善センターで開催された。参加者65名、保育8名、スタッフ等含めて全体で68名だった。高根沢町の高橋町長に挨拶と参加をいただき、町の行政の方も3名参加された。

昨年度県連くらし部会拡大学習会でも、講師をお願いした福島県水産試験場の五十嵐場長と早乙女主任研究員が同行された。「福島県の水産物モニタリング調査等について」をテーマに、具体的な調査データに基づいたお話は説得力が持つ内容だった。ラベルを使つての質問にもしっかり答えていただいた。



(高橋克法町長、町職員の方も参加された高根沢会場)

10月～11月とちぎコープを開催団体に、9会場が計画されている。事前の準備、講師との調整、広報、後援依頼、教育機関の関係へのお知らせ、参加者の呼びかけ、諸準備と各センターブロックを中心に対応をいただいた。一連のご苦労にお礼を申し上げます。

### (消費者課題の関連)

10月15日消費者ネットワーク幹事会が開かれた。消費者シンポジウムの内容について検討され、基調講演の講師を栃木市の鈴木市長に要請することとした。その関係で日程も含めて再検討することとした。

栃木市長へ要請し、市長の可能な日程として2月2日(土)の午後にシンポジウムを開催することになった。

第2回消費生活条例試案検討委員会が続いて開かれ、第1回に続いて条例試案のねらいや内容について、引き続き意見交換がされた。

### (国際協同組合年)

10月17日第14回の国際協同組合年ワーキングチーム会が開催された。今回は、とちぎコープと全労済栃木県本部から、協同組合原則の視点から見直しながら今年度上期の取り組みについて2会員から報告され、意見交換がされた。

また、「協同組合交流会」の報告者として、医療生協の宮本組織部長が互選された。

12月5日「協同組合交流会」の内容について、8月の実行委員会で確認された内容を踏まえて事務局間で検討し、関係団体に案内を発信した。

### (日本生協連関連報告及び要請事項)

10月2日さいたま新都心の関東信越厚生局で、「行政生協関係者連絡会」が開催された。県連関係の報告として、栃木県連からは「とちぎ食の安全ネットワークの取り組み」について報告をした。

安心して住める「福島」を取り戻すための活動について、募金及び署名について会員の取り組みをいただいている。

ブリヂストン那須グループ生協	職員内での署名の集約
栃木県職員生協	職員内での署名の集約
生活クラブ生協	組合員向けに署名推進 集約9月中
とちぎコープ生協	組合員向けに署名推進と募金の推進
よつ葉生協	組合員向けに署名推進と募金の推進
栃木県学校生協	組織としての募金に取り組む
ふれあいコープ	職員内での署名の集約 9月末1次集約、12月末2次集約
全労済栃木県本部	取り組みについて検討中

引き続き、可能な取り組みの推進をお願いしたいと思います。

#### 「あんしん福島募金」

- ・全国目標 13,600万円(福島県内生協へ内部被爆の測定器、食品の放射線測定器)
- ・期日 2012年度末

### (行政・他団体との協働)

10月28日栃木市総合運動公園で、「協働まつり」が開催された。全体で、冒険エリア、地球のエリア、スポーツのエリア、行政のエリア、キッズワーク、子育てのエリア、とちぎ市民活動推進センターくらのエリアなど多彩な催しが、屋外と屋内で行われた。子育てのエリアでは、NPOウィズ、国学院短大、とちぎコープ、よつ葉生協、栃木県生協連等多くの団体がスタッフとなり、子ども達との遊びや、チャリティバザーなどが行われた。

### (3) 12～2月の課題

1. 12～2月部会活動の推進  
(うつのみや食育フェアへの出展、ECOテック&ライフへの出展)
2. 12～2月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット、福祉ネット)推進  
(食の安全安心とちぎ消費者セミナーの推進を含む)
3. 2012年国際協同組合年栃木県実行委員会開催と交流会の成功
4. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
5. 安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
7. 第5次中計委員会の答申

(栃木県連・ネットワーク・行政・関係団体等行事の事前のお知らせ)

1. 栃木県生協連の活動予定 (9~10月)

12月17日(月) 13時半~、県連理事会、5次中期計画委員会  
1月17日(木) 17時~、東武ホテル、「賀詞交歓会」

2. ネットワークの活動予定

11月16日(金) 10時~、栃木県教育会館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 獨協医大 准教授 木村 真三氏  
11月19日(月) 10時~、那須塩原市三島公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 日本大学医学部 准教授 野口 邦和氏  
11月28日(水) 10時~、鹿沼市民文化センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 獨協医大 准教授 木村 真三氏  
12月5日(水) 13時半~、JAしもつけアブロー、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 獨協医大RIセンター 高橋克彦氏  
12月7日(金) 13時半~、福祉プラザホール、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏  
12月10日(月) 13時半~、JA栃木教育センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 獨協医大RIセンター 高橋克彦氏  
1月25日(金) 13時半~、佐野市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏  
1月28日(月) 10時~、宇都宮市東市民活動センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 高木学校 山田 千絵氏  
1月30日(水) 10時半~、小山市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 日本大学 教授 藤村 靖之氏  
2月4日(月) 10時半~、那須塩原市いきいきふれあいセンター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」、講師 有機農業者 館野 廣幸氏  
2月8日(金) 13時半~、矢板市生涯学習館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏  
2月中旬予定、13時半~、アピア予定、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏予定  
(変更) 2月2日(土) 13時半~、宇都宮大学・大学会館、「消費者シンポジウム」  
2月7日(木) 13時半~、つくば国際会議場、「関東ブロック消費者グループフォーラム」

3. 国際協同組合同年関係

12月5日 15時~、東武ホテル、「協同組合交流会」

4. 栃木県及び宇都宮市、他団体の行事参加の予定

11月9日(金) 13時半~、護国会館、公正取引委員会「講演会」  
11月26日(月) 14時~、ララスクエア6F、宇都宮市「消費生活講演会」  
12月1~2日(土) マロニエプラザ、県ECOテック&ライフ2012  
12月18日(火) 13時半~、アグリプラザ、食と農をつなげる会  
2月28日(木) 宇都宮市「食品安全講演会」予定